



公益社団法人芦屋市シルバー人材センター

はつらつ 芦屋

2020・7 No.30



ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

芦屋市シルバー

検索

かるがも親子 宮川河口
撮影 宮崎 大(会員番号2254)

TEL 0797-32-1414 FAX 0797-31-9223



令和2年度定時総会 コロナ禍の中で…



山村 昇理事長



議長の植田英三郎会員

新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言にともない、芦屋ルナ・ホールの使用ができなくなつたため、芦屋市シルバー人材センター令和2年度定時総会は5月29日(金)はつらつ館にて開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は日本経済・社会に波及し、センター事業にも及ぼしています。その様な環境の中でも、センターは「生きがい、就労の場の提供」「地域の担い手・働き手」としての役割が期待され一層重要となっております。

全シ協の指導の下、当日は感染防止対策をとり、出席者を絞って最小限の規模での総会となりました。

今井職員の司会進行、参加会員852名(当日出席30名、委任状822名)で無事定足数を満たし成立しました。山村理事長の挨拶に続き、25年在籍者2名、20年在籍者4名、10年以上在籍者52名の永年会員代表として北川知可子会員と福井基夫会員が表彰されました。

議長 植田英三郎会員が選出され、報告事項4件、決議事項18件が全て承認され約1時間で終了しました。

その後理事会で山中健理事長、恩田泰子副理事長、北田恵三常務理事が選任され、新役員の紹介、山中新理事長の挨拶、退任役員5名の特別表彰授与および代表として山村前理事長の挨拶の後、閉会しました。



特別表彰の退任役員(左から山村昇・河村昱生・永井伸一・加古良子・中塚好子)



特別表彰代表の授与

新役員紹介



上段左から (監事) 高橋信博・(理事) 阪口忠之・黒葛野三雄・安達昌宏・入部兼昭・石野由紀子・檜田隆子・亀岡順子
下段左から (監事) 阿部貞明・(理事) 後藤好幸・北田恵三 (常務理事)・山中 健 (理事長)・恩田泰子 (副理事長)・森山 弘・廣田輝代



10年在籍表彰代表の福井基夫会員



20年在籍表彰代表の北川知可子会員

委員会を再編成!

昨年度、第2次中期事業計画に基づいて事業運営部会で協議を重ねた結果、現委員会が再編成され、6月以降、新体制で事業運営を推進して行きます。

<p>●安全・適正就業推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> センターの安全体制の整備 安全と健康に関する事業の実施 安全パトロール ・就業相談 安全就業基準及び適正就業基準の適切な運用 	<p>●広報啓発委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> センター広報活動の企画推進 会報「はつらつ芦屋」の発行 広報紙「しるば～たいむず」の編集 ホームページによる情報発信 ・チラシ作成
<p>●会員拡大委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員の入会促進 ・女性会員の増強 専門技術、技能分野の会員の増強 退会者の抑制を図る制度の策定 	<p>●会員意識向上委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員スキルアップ研修の企画実施 センターのイメージアップを図る活動企画 イベント等参加促進を図る制度の策定
<p>●事業活性化委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業機会の確保及び拡大 ・派遣事業の拡大 独自事業の推進 多様な働き方の確保 	<p>●会員活動委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員相互の連携と親睦の企画実施 会員の福利厚生に関すること ボランティア活動の実施 ・同好会の活動支援

新旧理事長ご挨拶

退任あいさつ



今期の役員改選におきまして、理事長を退任いたしました。

在任中は、会員、役員、職員の皆様に一方ならぬご支援、ご協力を賜り任務を完遂することができました。感謝! 感謝! 感謝! です。誠にありがとうございました。

この間、「はつらつ館」の完成、センター設立30周年記念式典の開催など大きな出来事がありました。

特に、念願でありました私たちの活動拠点「はつらつ館」が芦屋市のご尽力で完成いたしました。このことによって、会員主導の意識が高まり、活発な委員会の開催、積極的な会員提案による独自事業の拡大等センターは飛躍的に発展いたしました。会員、役職員の皆様のご努力の賜物です。改めて感謝申し上げます。

一方、今般のコロナウイルス感染症の問題がいつ終息するのか不透明であり、センター事業に大きな影響をもたらしています。

大変な時期ではありますが、新体制の下、力合わせてこの難局を乗り越えて、さらに発展することを願っています。

最後に、皆様方のご健勝、益々のご活躍をご祈念申し上げごあいさつといたします。

前理事長 山村 昇

新任あいさつ



このたびシルバー人材センターの理事長を仰せつかりました山中 健です。芦屋市シルバー人材センターの理事長になるという小さい頃からの夢が叶って感無量です。

山村前理事長におかれましては8年もの間、当センターの運営に多大なご尽力をいただきましたことに、改めて敬意と感謝を申し上げます。本当にお疲れさまでした。

さて、新型コロナウイルスによって、現世に生きる人間が誰もかつて経験したことのない事態に見舞われました。戦後初とか史上初という文字を何度も目にしながら、今後とも注意深く生活していかなければなりません。働き方についても、今まで考えられなかった形が出来つつある大きな変化の年になりましたが、従来形でしか出来ない仕事もいっぱいあります。何が起こるか分からない、という備えもしっかりしながら、会員皆様におかれましては、健康で心豊かな日々をこの芦屋市シルバー人材センターとの関わりで過ごしていただけたら、と願っています。

役員・事務局の皆様と共に、そのような環境づくりに努力してまいります。

どうぞよろしくごあいさつ申し上げます。

新理事長 山中 健

センターの新型コロナウイルス対策

感染症拡大の防止

「新型コロナウイルス感染症」の感染が拡大する中、当センターでは、会員と事務局職員の感染防止を図る観点で、「新型コロナウイルス感染症対策会議」を立ち上げ、2月27日から「はつらつ館」で開催していた「講座」「教室」等の事業及び同好会活動のうち感染リスクの高い事業等は中止又は延期することを決定し、その後も感染が拡大していたことから全ての事業を中止し5月末まで期間を延長し感染拡大の防止を図りました。

「はつらつ館」での事業等を再開

4月7日に発令された「緊急事態宣言」が5月25日に解除されたことを受け、感染リスクの高い事業（大きな声を出す、呼気の激しい室内運動等）を除き、検温（発熱・咳症状の確認等）、マスクの着用、手洗い、手指の消毒や対人との距離の確保、換気等を行い感染予防対策を講じることを条件に6月1日から再開しました。

第2波に備えて感染予防の徹底

今後第2波が予想されていることから、感染状況に応じた適切な対応と備えが必要です。当センターとしても、感染予防対策として消毒液等の備品類を確保すると共に、引き続き感染対策の徹底を図っていきたいと考えています。

会員の皆さんにおかれても感染予防の徹底と今後に備えた対策をしておきましょう。

「住環境サポートチーム」

安全・安心な住まいづくりのサポート事業

皆さんがお住いの住居に“心配ごと”“お困りごと”は、ないでしょうか？

例えば「地震が来ても我が家は大丈夫？」「リフォーム工事をしたのが業者を選ぶ方法は？」「土地や空き家を活用したい」「マンション管理について詳しく知りたい」等等、そもそも「どこに相談すれば良いのかわからない」「〇〇相談会へ行ったら、たらい回しにされた」などの経験をされていないでしょうか。

私たち「住環境サポートチーム」は令和元年夏に、福祉住環境コーディネーター、損害保険鑑定人、司法書士および一級建築士の有資格者で立ち上げました。住まいや環境の社会的課題の解決を目的とする事業活動を行っています。職能の違う専門家が、ユーザーのお困りごとにトータルな支援を行う集団です。

住宅リフォーム業界はトラブルが起こりやすいといわれています。例えば、耐震壁を無くす、雨漏りや結露、高齢者や障害者への配慮のない施工、見積書の不透明性、契約書の不備など様々な配慮に欠ける事象があります。

トラブルを未然に防ぐための基本となる情報の提供と個別相談を行います。

私たちのチームは、住宅という“住まい”を単なる建築物（箱もの）と捉えるのではなく、住まいがひとの暮らしの場（空間）である限り、住まい手の精神的な安らぎを担保する重要なファクターとして、トータルにサポートする必要があると考えています。

本年2月には、講演会も開催させて頂いたいただきました。今後も各分野の専門家が加わる予定です。私たちは、芦屋市民の皆様のお役に立てるサポート集団と自負しております。是非、“お困りごと”があればご相談ください。



写真左から 片山会員、浪川会員、渡部会員、上野会員

芦屋の**マユ**が好き

心を癒してくれる 檜並木通り

北川 知可子 (会員番号557)

鳴尾御影線、宮川の橋を東に向かう檜並木の佇まいは、私の愛する芦屋風景のひとつである。道路幅は、広すぎず、狭すぎず、側道を歩くには心地よい。

打出駅近くの郵便局の並びのマンション、ちょっと眼を留めて頂きたい。1階部分の外壁は、丸い形の自然石で造られている。

私が芦屋に居住して55年、ずっと、JR線より北部に住んでいた。勿論大体の芦屋の街並みは知ってはいたが、震災後、若宮町に引越して来て10年余り、便利な打出駅周辺を歩く



うちに、心を癒してくれる 檜並木通りに惹かれた。

柔らかい若葉の頃、生い茂る真夏の木陰、紅葉の秋と四季折々の風情がある。枝先がぶつかり合うようにアーチを描き、何ともノスタルジックな気分につながるものである。

1.17 ひょうごメモリアルウォーク2020に参加

酒井 淳 (会員番号750)

阪神淡路大震災から25年経過今年も1月17日が巡ってきました。震災で亡くなった人々の鎮魂と街の復興を願い始まったメモリアルウォークに今年も参加することができました。



思い起こせば25年前芦屋市も被害甚大、不自由な生活を強いられてつらい思いをしたことなどを思い出しながら、芦屋の川西グラウンドから山手幹線経由HAT神戸、1・17のつどい会場まで10kmを歩いてきました。

今回参加して思った事は参加者の顔ぶれが大分変わったように思います。それだけ年数が経過しました。震災を風化させない、忘れない、伝える、活かす、備える、どうぞよろしく。

はつらつ俳句

久我 和子 (会員番号2251)

白木蓮 空の青さを突きぬけり

潮騒の 芦屋浜には 爽竹桃



似顔絵



中村 哲さん



野村 克也さん



志村 けんさん

紀行 ☆ 寄稿 ☆ 奇行 ?

変身してみよう!

北風 文子 (会員番号2338)

*その花冠華やか過ぎず可憐なる

風の娘はアネモネと呼ぶ

変身と言ってもウルトラマンになるわけではありません。

この春は、芦屋川沿いの桜祭りも中止となり、緊急事態宣言を受けて、自粛を求められる日々が始



まりました。立ち止まって自分のことを見詰めてみる機会にしませんか。

「人間は地球に住み着いた細菌だ」との意見も参

考になります。もし自分が地球なら、体中のあちこちで病原菌が発生し休みなく感染活動を続けていて苦しいと思うでしょう。ところで、私は常々植物にとりわけ愛着を感じています。動物とは異なり与えられた環境の中で

自分の出番を待ち、時が来れば最も美しい姿を精一杯表現し子孫を残すからです。昨秋、友人から小包で届いたアネモネの小さな15個の球根を濡れ縁の鉢に埋めました。今年3月下旬、蕾を見つけて驚きました。すっかり忘れていたからです。直ぐに私はアネモネ(語義はギリシャ語で「風の娘」)の花に変身してみることにしました。

〈温かい春の陽が差すと花卉を開ける限り開き光を浴びる。風が吹くとまるでブランコに乗っているかのように長い茎を揺らす。雨の日は嫌だ。冷たいし寒い、でも私には傘がない。降り止むのをじっと待つ。害虫に襲われても何処へも逃げて行けない。

太陽の明るさや温かさを思い浮かべながら雨に耐える。〉

樹木も又、冬を耐えて新緑の芽を出しやがて枝を広げ深い緑となりその美しさで私たちの目を楽しませてくれます。希望の場所に自ら移動できない植物に一度変身して、男性は樹木に、女性は花になつたつもりで様々なことを感じてみてはどうでしょう。新しい生き方が見つかるかもしれません。



惜別

昨年12月、凶弾に倒れた医師の中村哲(85)元アフガニスタンの大地に1600本の井戸を掘り25キロに及ぶ水路を開拓した。
「ア野球で戦後初の王冠王に輝くなど、強打の捕手として活躍、監督としてヤクルトを3度日本一に導いた野村克也(84)さん。
「サ・ドリフターズ」のメンバーでお笑いタレントの志村けん(82)さん。3月に新型コロナウィルスによる肺炎のため逝去。

澤田 邦洋 (会員番号2008)

ワーク・ア・ラ・カルト コープデイズ芦屋

コープデイズ芦屋、農産部門では19人の方が就業されています。その中から今回、朝8時～12時まで就業中の4人の方々からお話しをお伺いしました。

お仕事の大まかな内容は、その日入荷している商品を袋詰め、ラップ包装などをして産地、値段など入力したシールを添付し、開店に間に合わせ品出しをします。その中には1/2や1/4、1/8にカットする商品も有り均等に揃える加工という作業も含まれています。

日により季節により入荷が様々で種類も多いため、日々の作業が異なり、慣れるのに半年はかかったと話される方もおられました。また売れ具合を見計らい、優先順位を考え、追加作業、商品補充、夕方までの準備もされています。

急に商品が売れたり、尋ねられたり、どうしてと思うとメディアで紹介されたという事もよくあり、アンテナを張って敏感になったと楽しそうでした。



取材 加古 良子

お客様からの質問に答えたいと商品説明、調理方法などの勉強をされ、新しい商品や珍しい商品も知ることができ、商品知識が豊富になったと。旬や鮮度などを見極める目も育ったそうです。

2年～8年と就業期間の違いはありますが、シルバーの仲間同士助け合いながら和気あいあいと楽しく就業し、充実感があると言われています。

昨年から派遣に代わっても特に仕事内容や対応は変わらないと言われています。お店で野菜や果物を見たら皆さんの活躍が思い浮かぶでしょう。



じいじへ

いつもいっしょにおしごとしてくれてありがとう。
 まあはじめはテニスたのんでるんやない、
 テニスかうまいの？あ、そっかいっしょいけん
 うしたからたのづきはパンたのんでるん
 にパンつくるのがうまいのそっかババお
 してもらったたのいじははとくいなこ
 といっしょいあるなわたしもとくいなこみか
 て、いつもいっしょいして、いっしょいおれりも
 もっとうまくなろう。わたしもおはあちゃんい
 たってもとくいなこ見ついてもっとうま
 くなろう。いまはコロナでさいさんあえ
 ないけどわたしはそんないいじかす
 ぎたのさいごしもうなとつ...

じいじいつもおそんでくれて

ありがとう

じいじ
まいどち、テニス
オンぱるね。



おるる



私のおじいちゃん

安村 瑠々さん(小2)

和田 秀基さん 孫
(会員番号3233)



妹 音々(ねね)さん(小1)と

和田さんと瑠々(るる)さん

◀こちらは、妹の音々さんからの郵便りです。

元気の秘訣!

「リフォーム大好き」

瀧村 董子会員の巻
(会員番号2938)



箆笥やテーブルをピンクの明るい色に塗り替えたそう。小さくなつたセーターは毛糸で手首と腰まわりを編み込

刺繍入りの白いブラウスにパンツ姿、そして髪は自分でショートにカットされ、黄色のスニーカーが似合われる瀧村さんに元気の秘訣をお聞きした。

朝4時に起きて、緑茶をペットボトルに入れ、自転車で20分。雨の日も風の日も週4日スーパー万代で就業されている。最初の頃は挨拶程度であったが、近頃では若い男性スタッフから声をかけてもらえるとか。

盛り沢山の朝食メニューを紹介しよう。トマト、ヨーグルト、パン、きな粉、アマニ油、蜂蜜、シナモン。一番美味しいのが、仏さんのご飯を銀紙にのせ、オリーブオイルとチーズをかけて、オーブントースターで温める。

そしてもう一つ。大好きな趣味はリフォームをする事。家の

み新しくなる。このくらいなら、誰でも出来るかもしれないが、驚く事は、履いておられるスニーカーの底をゴムで張替えて20年も愛用。「ホントに!」と耳を疑った私に、彼女曰く、大切な事は「出来る」とか「出来ない」とかではなく、「自分がやろうと思えば何でもできるの:」人生に自信を持ち、自分らしく貫き通す姿に、ずっしりとした落ち着きを感じた。

インタビュウの後、喜劇王で有名なチャップリンの名言を思い出した。
「人生に必要なのは、希望と勇気とサムマナー」
ピッタリ当てはまる方である。

取材 久我 和子

夫婦で会員 ロマンスシート Romance Seat

♡ おしどり夫婦 ♡



中嶋 哲夫(会員番号2617)
崔 鳳子(会員番号3095)
今回もとても仲の良いご夫婦にお話を伺いました。

ご主人が入会されたのは4年前で入会説明会に参加され、すぐにお仕事に就かれたとのこと。お仕事は保健福祉センターの

2階でスタディールームの受付を週3日間されています。学生、児童相手のお仕事でありその対応にご苦労もあるとのこと。その他にマンションの管理や清掃の仕事をされており、ほぼ毎日お元気に活躍されています。若いときには柔道やラグビーをされていたそうで元気の源になっているようです。

後に入会された奥様はスポーツ施設のお掃除の仕事を少しされた後、現在はリフォーム班で活躍されています。元々、洋裁がお好きだったこともあり、まさしく趣味と実益を兼ねて楽しくお仕事をされています。

お二人の趣味についてお聞きしたところ、ご主人は読書程度ですが、奥様はとても多趣味で、美術館や博物館に行かれたり、ハイキング、社交ダンス、水彩画もされています。

ご主人はそんな奥様の趣味に合わせて、ご一緒に映画鑑賞や六甲山のハイキングをされるとのことです。相手を思いやる心優しいお二人はまだまだ、これからも仕事と趣味で人生を楽しみたいといきいきされていました。

取材 尾地 照男

マジックから始まる 笑顔のつながり

元芦屋市長の山中 健さんが
昨秋シルバーに入会され、保育所
ボランテニア全てに参加されマジ
ックで活躍。シルバーの総会や
オンステージでも披露して頂きま
したが、そんなマジシャン山中
さんにインタビューをしました。

マジックを始めたきっかけ

6、7年前、ある懇親会でプロ
のマジックをみて、わぁー凄い！
と感じ翌日に東急ハンズに行き、
これなら出来ると『チャイナリ
ング』を買ったのが始まりです。
大きなリングをそれぞれの手に
一つずつ持ってそのリングを繋
げたり外したりするマジックで、
結婚式でよくします。それぞれ
のリングを新郎新婦に見立て、
絶妙な言葉と共に繋げ絶対外れ
ませんねと。雰囲気は和みます。
普段から明るく楽しい市長であ
りたい。堅苦しい話よりも楽しん
でもらいながら考えを伝えたいと
思っていました。私も楽しそうに
皆さんを見るのが嬉しいからです。

得意なマジック



まず、
「プロの
マジシヤ
ンは誰も
やりませ
ん」と、
つかみは

トークで引きつけ、縦じまのハ
ンカチを一瞬に回転させ横じま
に変えます。笑いを誘いながら
ハードルを低くして入ります。

得意なマジックは小さい布を
出し、その場にあわせた言葉を
言いながら、その布が付いてい
る小さなステッキをパツと長く
大きくするので、思わず皆
さんの笑顔がこぼれます。どん
なマジックをするにしてもつか
みが大切で、楽しんでもらえら
る工夫も必要です。時々失敗して
も愛嬌で、時にはネタ明かしも
サラッと示し、その時の驚きや
笑いの反応も含めてマジックの
世界にしています。

色々な機会ですが、記念
式典ではその式典に合ったもの
を選びます。例えば、50周年の
式典なら50の文字が出るように
したり、講演では、話す前に
どんなアドリブを付けたらいい
のかを考えます。

マジックはエンターテイメント

の面もあり、市長を退任する時
にプレゼントされた衣装の帽子・
蝶ネクタイ・胸バラ・上着を着
ることで盛り上がります。これ
からも続けるように、周りの人
たちも期待してくれていたのか
もしれません。

マジックとボランテニア活動

大人と違い子ども達は現象に
反応が強く素直ですからね。活
動終了後もマジックをやりたい
という子もいました。保育所で
落語も少し加えてみました。子
ども達にはちょっと：反省材料
もありました。保育所・地域の
集会所のボランテニアを合わせ
ると三十数か所からのオフアー
です。集会所等でもいつものよ
うに笑いを取りながら始めてい
ますが、皆さんがマジックを楽
しみに待っていたいだいているの
を感じます。この道で名前が浸
透するとは思いませんでした。

今までは特にグループに属し
ていませんが、今回シルバー人
材センターのマジックの会に所
属し、学びながら地域と共に活
動ができるきっかけかなと思っ
ています。

これからは…

マジックは年代に関係なく楽

しめますし、これをやったら喜
んで頂けるかなと思いつながらし
ますが、本人はすごく恥ずかし
く羞恥心を捨ててやっています。
これからは落語を磨いて、トー
ク・マジック・落語と三つを合
わせて更に皆さんに楽しんでも
らいたいと思っています。

常に人とのつながりを大切に
されていると感じるのは、市長
として歩んでこられた証なので
しょう。山中さんにとって、楽
しかったと言う言葉と皆さんの
笑顔が最高の励みだと感じました。
尚、山中さんは令和2年春の
叙勲で《旭日中綬章》を受賞さ
れました。

取材 廣田 輝代



『手先も人生も不器用な私ですけれど
も、研鑽に研鑽を積んだ山中 健さん
です。』

～新聞に掲載されました～

「自主・自立、共働・共助」 芦屋市SCの特徴をアピール!

上部団体の公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が、「高齢者活躍人材確保育成事業」の広報活動として、新聞広告を県内全域に実施しました。センター紹介記事として、姫路市、伊丹市、芦屋市が選ばれ、2020年3月13日に朝日新聞（県内約34万部配布）と3月14日に毎日新聞（県内約12万部配布）に大きく掲載されました。



芦やん小町運営委員の 恩田 泰子さん

「女性の会」芦やん小町 楽しいところに人は集まる

女性会員拡大のために始まった「女性の会」だが、恩田泰子さんは「入会だけにはしたくばい」と考えたい。手合員から降り、芦やん小町とネット、運営委員会を毎年新しい企画を考案し、友人、知人にも参加を呼びかけ「女性の会」を企画。そこからグループが、ミニイベントや講習会が開かれ、人数が伸びた。また無本舗のチャリティイベントを機に、シルバニアファミリーにバザーで参加。売上金は地域の子どもの施設等に寄付している。「会費増は目標ではないので、必ず、楽しさ」「はつらつ」がかけがえのない宝だと思っています。

「はつらつ館」には「仲間・アイデア・熱気」がいっぱい 芦屋市シルバー人材センター

芦屋市シルバー人材センターの活動拠点「はつらつ館」は熱気溢れている。現在会員数は1,000名。1会員は約50名生かされています。と恩田さんは話している。事務局事務局長の北田恵三さんと事務局主任の羽瀨祐子さん。平成31年1月の「はつらつ館」への移転を機に、会員の事業立ち上げ意欲が高まり、利用可能な部屋が月曜から土曜まで午前・午後ともほぼフル稼働。乳幼児の教室や実用調理、乳幼児の登録会員が就業しているだけでなく、同センターの大きな特徴は独自事業（※）が充実していること。会員自らの特技やキャリア、趣味を生かし、仲間が集まり、事業を立ち上げる。規模は大きくないが事業数は現在30に近い。「まずはやってみよう」。

◆健康コミュニケーション 麻雀 脳を活性化防止の効果が期待されている麻雀。同好会を立ち上げた野原さんは、事業立ち上げ当初の代表が声をかけられた。好きでも、教えるとなると話が進まず。お断りしていたのですが、2年前、とうとう代表になりました。仕事を自分のペースで

◆将棋同好会 将棋同好会 代表の森野原さんは、芦屋市の「高齢者活躍推進」の任事を統括しながら、現役時代の経験を生かし企業委員会のメンバーとして会員拡大、独自事業の審査、会員向け施設

◆小町カフェ「集いの場」 独自事業の一つで、地域の交流の場「小町カフェ」が、月10回開催されている。右と藤谷さん、左と藤谷さんが開く「小町カフェ」。ジャズ演奏の会、昭和歌謡の、詩吟、切会などメニューも豊富。同好会として、パソコンサラ、スマートフォン体験、子ども対象のブロック、マニキュア教室の講師を務めています。

◆健康コミュニケーション 麻雀 脳を活性化防止の効果が期待されている麻雀。同好会を立ち上げた野原さんは、事業立ち上げ当初の代表が声をかけられた。好きでも、教えるとなると話が進まず。お断りしていたのですが、2年前、とうとう代表になりました。仕事を自分のペースで

◆健康コミュニケーション 麻雀 脳を活性化防止の効果が期待されている麻雀。同好会を立ち上げた野原さんは、事業立ち上げ当初の代表が声をかけられた。好きでも、教えるとなると話が進まず。お断りしていたのですが、2年前、とうとう代表になりました。仕事を自分のペースで

◆健康コミュニケーション 麻雀 脳を活性化防止の効果が期待されている麻雀。同好会を立ち上げた野原さんは、事業立ち上げ当初の代表が声をかけられた。好きでも、教えるとなると話が進まず。お断りしていたのですが、2年前、とうとう代表になりました。仕事を自分のペースで

「去年今年貫く棒の如きもの」 高濱虚子 俳句に「去年今年」と言う季語がある。除夜の鐘を境に新しい年となり時間はとうとうとして流れる。はつらつ芦屋も30号となり、裏表紙には20号から29号迄の写真を並べてみた。刻一刻移り変わるこの時代に今日までたゆまぬ努力をして来られた先輩方を思う。 久我 和子



2015.7 No.20



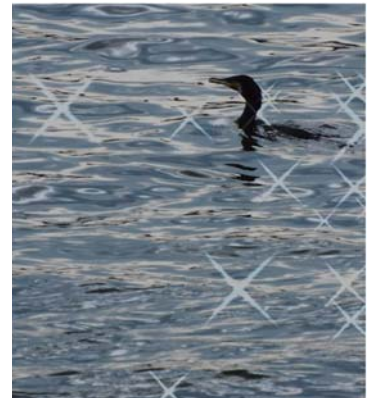
「はつらつ芦屋」は第30号の節目を迎えました。第20号では創刊号から第19号までを掲載しました。今回は第20号から第29号までの足跡を振り返りました。



2017.1 No.23



2016.7 No.22



2016.1 No.21



2018.7 No.26



2018.1創立30周年記念号 No.25



2017.7 No.24



2020.1 No.29



2019.7 No.28



2019.1 No.27